

## 平成29年6月定例会 県土都市整備委員会の概要

日 時 平成29年7月3日（月） 開会 午前10時 5分  
閉会 午後 1時30分

場 所 第9委員会室

出席委員 小川真一郎委員長

柿沼トミ子副委員長

金子勝委員、宇田川幸夫委員、細田善則委員、高橋政雄委員、齊藤正明委員、  
高木真理委員、藤林富美雄委員、並木正年委員、中川浩委員

欠席委員 なし

説明者 [県土整備部関係]

西成秀幸県土整備部長、須藤喜弘県土整備部副部長、

中村一之県土整備部副部長、相沢正実県土整備政策課長、

磯田和彦建設管理課長、西岡利浩用地課長、福島英雄道路政策課長、

金子勉道路街路課長、大山裕道路環境課長、加藤智博参事兼河川砂防課長、

秋山栄一水辺再生課長

西村実収用委員会事務局長

[都市整備部及び下水道局関係]

野川達哉都市整備部長、武藤彰都市整備部副部長、

五味昭一都市整備部副部長、末柄勝朗都市整備政策課長、

吉岡博之都市計画課長、川辺隆浩市街地整備課長、

落合誠田園都市づくり課長、北田健夫公園スタジアム課長、

白石明建築安全課長、柳沢孝之住宅課長、桝原徹営繕課長、

田中裕二設備課長

栗生田邦夫下水道事業管理者、新井伸二下水道局長、柳田英樹下水道管理課長

本田康秀参事兼下水道事業課長

会議に付した事件並びに審査結果

1 議案

なし

2 請願

なし

所管事務調査

1 県土整備部関係

(1) 県道の附属物である道路標識の腐食について

(2) 落石が原因と思われる転落事故について

(3) 横断歩道橋の転落事故について

2 都市整備部関係

大宮公園ランドデザインについて

## 報告事項

### 1 県土整備部関係

埼玉の活力を高める道路ネットワーク整備について

### 2 都市整備部及び下水道局関係

(1) 指定管理者等に係る平成28年度事業報告書及び平成29年度事業計画書について

(2) 平成29年度における指定管理者の選定について

(3) まちづくり埼玉プランの見直しについて

(4) 包括的民間委託に係る平成28年度事業実績及び平成29年度事業計画の概要について

---

**【所管事務に関する質問（県道の附属物である道路標識の腐食について）】**

**細田委員**

4月にさいたま市浦和区針ヶ谷で警察が管理する標識が倒れて負傷者が出たが、県土整備部で管理する道路標識の総数や管理状況等について聞きたい。

**道路環境課長**

県が管理する道路標識は、目的地を案内する大型の道路案内標識が約4,000基、警戒標識などの小型標識が約16,000基ある。日常の管理としては、道路パトロールカーによる目視点検を行っており、おおむね3日に1回、状態を確認できている。また、日常点検のほか、近接目視による定期点検を実施しており、大型標識については、5年に1回の頻度で実施している。小型標識については、定期点検が義務化されていなかったが、平成28年度に国から点検要領が示されたため、今後は、5年に1回の頻度で定期点検を実施していきたい。

**細田委員**

目視点検だけだと見つけれない場合があると思われる。非破壊検査などを行えば、部材の腐食などより詳細に状況が把握できると思うが、どう考えるか。

**道路環境課長**

定期点検の際は、単なる目視ではなく、高所作業車などを使用し、部材の腐食状況、亀裂やボルトの緩みの有無などを確認するとともに、打音や触診による検査を行っている。その際、さびなど異常があれば、非破壊検査機器による板厚等の検査をし、腐食が著しいと判断された場合は交換等の対応を取っている。

**細田委員**

意見として申し上げる。点検者の習熟度によって非破壊検査を実施するかどうかの判断にばらつきが出るため、もう少し非破壊検査を増やし、問題箇所の交換など適切に対応していただきたい。

---

**【所管事務に関する質問（落石が原因と思われる転落事故について）】**

**金子委員**

- 1 この事故はどのような状況で発生したのか。
- 2 事故現場に石が落ちていたのとのことであったが、事故現場付近で落石対策が取られていなかったのか。通常であれば落石の防護柵が設置されているはずであるが、その一部が破損していたということか。

**道路環境課長**

- 1 4月22日土曜日の午後10時頃、秩父市内の県道秩父上名栗線の浦山大橋付近で車両が崖下に転落した。その結果、運転手1名が亡くなり、同乗者3名が重軽傷を負う痛ましい事故となった。警察の調査では、現場近くに約50センチメートルの石が落ちており、この石に接触して落ちた可能性があると考えられている。詳しい事故原因につい

は、警察で調査中であり正式な見解は出ていないが、この石が原因となった可能性が高いことから、道路管理者として重く受け止めている。

- 2 現場には落石防護柵が整備されているが、御指摘のとおり一部に隙間が開いており、この隙間から石が落ちたと推測されている。

#### 金子委員

隙間があったとのことだが、防護柵が破損していたのか。

#### 道路環境課長

山の所有者が山林の管理のために入り出すため、意図的に開けてあった箇所である。

#### 金子委員

開いていた隙間は、現在は閉じられているのか。

#### 道路環境課長

山間部を管理している県土整備事務所で緊急点検を行い、県内で同様な箇所が97か所確認された。これらについては、地権者の確認を取りながら、まずは応急対応を進めている。6月末までに77か所で応急対策が完了し、残りについても7月末までに応急対策が完了する見込みである。その後、ほかの部分と同等の構造となるような対策を順次進めていく。

---

#### 【所管事務に関する質問（横断歩道橋の転落事故について）】

#### 金子委員

- 1 幼児が転落した事故の発生原因は何か。
- 2 柵の隙間から幼児が転落したと新聞等で報道されていたが、この柵の隙間の基準はあるのか。
- 3 事故が起こった横断歩道橋の柵は基準に適合していたのか。
- 4 県が管理する横断歩道橋で事故が起こった歩道橋と同様のものがどの程度あるのか。
- 5 事故が発生した歩道橋と同様のものについて、対策はどのように行われているのか。

#### 道路環境課長

- 1 転落した瞬間については目撃されていないが、現場の状況から、柵の隙間が最大20センチメートル程度開いており、この隙間から転落したのではないかと推測されている。
- 2 国土交通省が「防護柵の設置基準」を定めており、この基準の解説書としてまとめられた社団法人日本道路協会の「防護柵の設置基準・同解説」の中で、高欄の形状については、幼児がすり抜けて転落する恐れも考慮して、柵間隔は150ミリメートル以下とすることが望ましい」となっている。
- 3 この基準からすると、事故が起きた横断歩道橋は望ましいとされる基準を満たしていないが、この基準は昭和61年に設定されたものである。事故が起きた歩道橋はそれ以前に設計されたものであり、設計当時は150ミリメートル以下という基準はなかったので、基準に反していたという状況ではなかった。ただし、現在の基準からすると間隔が広いことから、直ちに応急措置の対策を完了させた。
- 4 緊急点検を行った結果、150ミリメートル以上の間隔があった歩道橋が40橋確認された。

5 6月末までに柵を追加したり、プラスチックの板を張る等の対策を全て完了した。

#### 金子委員

- 1 整理すると、今回の事故は、横断歩道橋に基準ができる前の150ミリメートルより広い間隔があったことから起きてしまった。現在については、新しい基準に対して不適合のものは全て6月で対策が完了し、基準を満足していると考えてよいか。
- 2 柵が横になっているものはないのか。

#### 道路環境課長

- 1 県が管理する横断歩道橋については、全て6月末で150ミリメートルの基準を満たす状態となっている。
- 2 横方向に転落防止の柵を設置することは、よじ登り等の危険もあることから、基本的には縦に設置することとなっている。

---

#### 【所管事務に関する質問（大宮公園グランドデザインについて）】

#### 宇田川委員

大宮グランドデザインについて、もう少し詳しくこれまでの経緯をお示しいただきたい。

#### 公園スタジアム課長

大宮公園は、明治神宮や日比谷公園などの設計もされた本多静六博士らが約100年前に「氷川公園改良計画」を策定した。それ以降、大宮公園はこれを基本にしながら整備を進めてきた。次の100年については、本多静六博士の精神などを継承しつつ、文化・観光の拠点として一層魅力のある公園にしていくために、大宮公園の将来イメージを示し、魅力アップを図っていきたいと考えている。

このグランドデザインは、検討委員会の中で検討される内容ではあるが、東京都が策定した上野公園グランドデザインでは、ゾーニングを行い、ゾーニングごとに文言による整備にあたっての基本的な考え方を示し、望ましい将来像をイメージスケッチにし、イメージ共有ができる内容となっている。

なお、アウトプットについては、検討委員会にお願いしようと考えている。グランドデザインが策定された後は、これを基とした設計を進めて、予算を取って整備をしていくこととなる。

#### 宇田川委員

次の100年を見据えた計画ということなので、地元の方々と盛り上げていくことが大変大事である。地元に対しての説明や期間はどのようにやってきたのか。

#### 公園スタジアム課長

地元への説明は、まだ行っていない。地元に関しては、平成24年度から、大宮公園魅力アップ協議会というものがあり、大宮公園の関係者である大宮アルディージャ、野球連盟、自治会連合会、東武鉄道、商店街などの方々が集まり、毎年1～2回程度の意見交換会を行っている。来週、この協議会が開催されるため、そこでこのような説明を行いたいと考えている。

### **宇田川委員**

まだ、説明会はなかったということを確認した。大きなプロジェクトとなるため、始まる前の丁寧な説明が一番大切と考えるがいかがか。

### **公園スタジアム課長**

丁寧な説明は大事と考えている。検討委員会は、秋に開催を予定しているため、それまでに魅力アップ協議会の構成委員である連合会長を通じて周知していく。検討委員会の開催日時がハッキリしたら、内容を含めて、できるだけ公表していきたい。

### **宇田川委員**

周知は秋までに行われ、検討委員会開催までにしっかりとした体制をつくるということではよいか。

### **公園スタジアム課長**

大宮公園に関係する様々な団体からも意見をいただきたいと考えているので、グランドデザインを策定していくことの周知を行うとともに、意見をできるだけ伺いたいと考えている。

### **宇田川委員**

日下部議員からの一般質問にも提案があったように、いろいろな方々からの意見が出ると思う。100年を見据えて歴史と伝統のある大宮公園を作っていくために、埼玉県を代表する公園になるよう、秋までにいろいろな体制づくり、今一度それで大丈夫なのかお聞かせいただきたい。

### **公園スタジアム課長**

周知の仕方については、もっと皆様に積極的にお知らせしていきたいと考えている。検討委員会は2年間かけて進める予定だが、中間段階においても意見を伺うなどのいろいろな方法を考えて進めてまいりたい。

### **宇田川委員**

2年に及ぶ大事な検討委員会について、今年も1,700万円の予算も承認されており、これらを踏まえしっかりした体制づくりをこれから整えていただきたい。そのことを申し添えて意見とする。

### **中川委員**

大宮公園の関連で伺うが、NACK5スタジアム脇の歩道がない部分に、クランクになってなおかつブラインドがあるなど危険な場所がある。自転車が不慣れな方は止まられずにけがをする可能性があるため、速やかな対応を望むがどうか。

### **公園スタジアム課長**

該当箇所はさいたま市管理部分と公園との境界になるので、道路管理者であるさいたま市と相談して対応したい。